

こぼとしんぶん

2学期に行った国際バカロレア (IB) 探究活動をご紹介します！
保護者の皆様は学びの記録ポートフォリオと合わせてご覧ください。



学びの要素を紹介します

園では1年間に4つの探究活動(ユニットと呼びます)に取り組みます。約3ヶ月という期間で、知識を覚えるのではなく、様々な学びの要素に触れながら各テーマに沿った概念的理解を目指します。以下に、ユニットに設定しているそれぞれの要素を紹介します。

教科の枠を超えたテーマ: ユニットごとの大きな枠組みです。
セントラルアイデア: ユニットを通して気づいてほしいことです。

探究の流れ: 子ども達の探究活動は、大まかに3段階の学びで構成されています。

教科の枠を超えた学習を支える**特定概念**が示されています。子どもたちはこれら概念のレンズを通して、物事を見ることでより深く学び、他の事柄に繋げることができます。また、より教科の性質を反映したその他の**概念**にも触れます。

スキル(ATL: Approach to Learning):
学習の基礎となる5つのスキルを示しています。
子どもの行動をより具体的に示した**サブスキル**も記載しています。

10の学習者像:
IB教育において、「学習者」には子どもだけでなく周りの大人も含まれます。園ではオリジナルのロゴマークを使って、子どもたちにわかりやすく伝え、評価に活用しています。新聞内のイラストをご覧ください。

詳しい説明はこちら→
(IB資料「学習者」より)



ATLスキル



10の学習者像

年少組

Who we are (私たちは誰なのか)
いろいろな人がいて、みんな繋がっている

探究の流れ

1 好きに気がつく

特徴

園生活に慣れ、2学期からは「お当番活動」が始まりました！朝の会で、お名前と好きなものを発表します。「～です」の言い方も上手になり、「今日はお当番さん！」と自分の役割をやり遂げようとする**信念をもつ人**の頼もしい姿も見られるようになりました。



2 自己表現(好きを伝える)

自分の好きな色の服を着て楽しんだカラフルデー。英語の先生と一緒に、同じ色のチーム作りや玉入れなどをしました！色ごとのリボンを使って、人数を測りながら、「より多い」「もっと少ない」など**数(測定:比較)**の力を伸ばしました。年少さんは目に見える**特徴**から、「赤色、同じだね!」「違っても楽しいね!」と違いを認める**心を開く人**の姿を育みます。



関連



3 他者と自分

お友達との関わりがぐんと増えた2学期。お店屋さんごっこでは、品物作りやお店屋さん役を通して少しずつクラスのまとまりができてきました。発表会の劇作りでは、役・衣装を自分で選び、楽しんで取り組みました。**思考スキル**を活用し台詞や歌の振り付けを自主的に決める場面も！PYPで重要な、子ども達が自分で選び・進める力「**エージェンシー**」を伸ばすことができました。



How the world works
(世界はどのような仕組みになっているのか)
自然のサイクルは私たちの生活に影響を与える

探究の流れ

1 季節の遊びと行事

特徴

2学期はまず、夏休みの思い出の写真を共有することから始まりました。どこに行ったか・何をしたかなど、みんなの前で緊張しながらも発表することができました！「食べ物」「プール」など似ている仲間グループ作りをしました。



2 季節の移り変わり

厳しい残暑が終わると、あっという間に気温が下がります。「今日は寒いね〜」「長袖着てきたよ!」**秋**ならではの落ち葉やどんぐり拾いをして楽しみました!塗り絵や製作も秋に関連する活動色・形・温度など五感を使って様々な**変化**に気づくことができました。

思考:特有の性質を見つける

変化

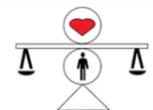


知識のある人



3 私たちの生活との関わり

「14ひきのあきまつり」や「あきぞらさんぽ」など季節の行事に触れた絵本もたくさん読みました。衣服の調整を自らする**バランスのとれた人**の姿が見られました。自分の健康を保つ**自己管理スキル**も、できることから伸ばしていきます。



年中組

Who we are (私たちは誰なのか)
友だちは私たちの生活に影響を与える

探究の流れ

1 友達の存在

視点

年中さんになり、お友達とのコミュニケーションが増えた分、衝突も増えてくる2学期。「友だち」をテーマにユニットに取り組みました。自己紹介カードの発表や名刺交換をすると「〇〇くんと一緒にだね」などお友達のことをよく覚えている**心を開く人**の姿が!体操の時間でもペアでボール活動をしたりと、**コミュニケーションスキル**を伸ばしました。



2 友達との関わり方

関連

絵本「カラーモンスター」を参考に、気持ちの色を貯めていく「気持ちのメッスリンダー」の活動をしました!日々の生活で感情が動いた時に、その気持ちの色を自由に塗ります。1本を10目盛にし、**数の要素**である「半分」や「多い・少ない」を認識できるようにしました。また、「ええところ」や「ちくちくとふわふわ」の絵本を読み、目には見えない**思いやり**の概念に触れていきます。



3 みんなとわたし

お友達と協力して作り上げたお店屋さんごっこでは、自分のやりたいことだけでなくお友達と声を掛け合いながら**コミュニケーション**ができる人の姿を發揮しました!最後には、ユニットで探究したことを元にどんなクラスにしたいか**クラスの基本合意エッセンシャルアグリーメント**を作りました。



思いやりのある人



How we express ourselves
(世界はどのように自分を表現するのか)
私たちは役を演じることで、自己を開放することができる

探究の流れ

1 登場人物の特徴

特徴

2学期後半は発表会と関連付け、「表現」のユニットに取り組みます。劇の題材と役を話し合いで決めると、ワークシートを使って役のイメージを考えました。「どんな動き方をするかな?声は?」と、**登場人物の特徴**を想像しながら練習に取り組み始めました!



衣装のデザインを考えましたよ!

2 色々な表現方法

視点

衣装にもこだわり、曲のイメージや、時にはセリフをアレンジしながら自分たちの劇を作り上げていきます。キャラクターの**感情**を考えながら、**コミュニケーションスキル**を活用して表現の幅を広げました!



挑戦する人

3 より良く伝えるための工夫

練習のビデオを見て、「ふらふらしないで前を向く」「こういう動きにしたら見えるかな?」など**思考スキル**を活用し、**振り返りができる人**の姿を伸ばしました!

よくできた点と改善できる点を特定する





年長組

探究の流れ

1 光とは何か

身の回りに溢れる「光」ってどんなものだろう？ライトテーブルや懐中電灯、アクリル積み木など様々な環境を準備します。「こうすると影ができるよ！」と自由遊びの中で**反射・透過**など光の**特性**に触れた子どもたち。

暗幕で作った「光のアトリエ」で暗闇を体験すると、光があると色や形が見えることに気づきました！

「どうしてこうなるの？」という疑問を大切に**リサーチスキル**を育みました！

考案：リサーチすることが可能な問いを、遊びを通して投げかける、または表現する

気づいたことをまとめた光マップを作ったよ！



3 光をどのように使うか

お店やさんごっこに向けて、年長組もクラスで光を使った遊びを作ること！影絵を使った映画館やクイズなど、光の**特性**を学んでわかったことを活かし、各クラス2種類の遊びを作りました。自由にアイデアを出し、使う材料を考えながら形にする力は**思考スキル**の1つ。お友達と協力する**コミュニケーション**ができる人など、年長さんならではの姿が見られたユニットになりました。

創造的思考：議論や遊びを用いて、新しいアイデアや調査を生み出す

How the world works
(世界はどのような仕組みになっているのか)
私たちは身の回りの光を認識し、その役割を活用する



地面に近づけると影の形が変わるよ！

2 どのような光があるか

手鏡で日光を反射させた的当てや、カラーセロファンを重ねた製作など、遊びの幅も広がりが出てきました。園内探検では、照明以外にも窓から差し込む光や、設備にある小さなライトなど色々な光を見つけ、「自分で光るもの**(光源)**」と「光を反射しているもの」に分類しました。

スタンドグラス製作や影絵作りなど全体の活動の中でも、**数(データの扱い:可能性)**の力を活用し、予想しながら実験する**探究する人の姿**がたくさん見られました！



Where we are in place and time
(私たちはどのような場所と時間にいるのか)
私たちは昔の人々から学びを得ることができる

探究の流れ

1 昔の生活

「昔ってなんだろう?」「今と何が違うのかな?」秋の遠足で見た薬師池公園の昔の家などをきっかけに、昔のものの調べが始まりました！

昔の道具カードを見ながら、使い方を予想し、図鑑で探します。昔の電話や炊飯器など知らなかったことがたくさん！わかることが増え、「これも調べてみたい!」「身の回りにも昔のものないかな?」と探究心が湧いてきます。

時には先生に調べ方を聞いたり、タブレットで検索したりと様々な方法で探究する**リサーチスキル**がぐんと伸びました！

データの収集：さまざまな情報源(人、場所、教材、文献)から情報を収集する



3 昔の生活を体験する

昔話の劇づくりを通して、「神社は今も形が変わっていないね」「今も昔も人に優しくするのは大事だね」と色々な学びを得た子どもたち。

けん玉・カルタ・すごろくなど昔の遊びも楽しみました。墨をすって習字をしたり、江戸時代の娯楽である歌舞伎を見たり、今も変わらず大切にされている日本の**文化**にも触れました。

「時代と共に暮らしが**便利**に変化して来たこと」や「今も昔も良いところがあること」に気づいた子もいました。

IB教育の理念として掲げられている違いを尊重する**心を開く人の姿**が伸びることを願っています。

誕生会と10の学習者像

各月の誕生会の様子はブログでご覧いただいておりますでしょうか？

毎月IBの**10の学習者像**から1つ取り上げ、寸劇や読み聞かせを通して姿を伝えています。お楽しみの後に、「どんな学習者像の姿があったかな?」と問いかけると、様々な意見が出てくるようになって来ました！

冬休み中にも、**探究する人**などお子さまが輝く姿がありましたら、ぜひご共有ください。



2 今と昔を比較する

昔話の絵本を読みながら、発表会の題材が決まると、お話に出てくる食べ物・服・道具などグループに分かれてより深く調べます。お話の**時代**によって暮らしの様子が違うことにも気づき、調べたことを台詞や歌の歌詞などに入れ、オリジナルの劇を作り上げました！

時には、「天狗」「神社」などについてお家の人と調べてきてくれたことをみんなに共有する**知識のある人の姿**が見られました。



てんぐ下駄や羽子板に挑戦！



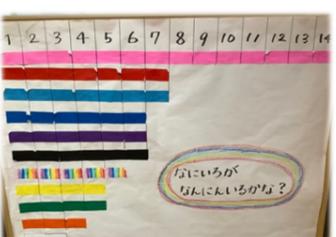
フリースタイル英語

週に1回のフリースタイル英語では、講師の先生と協働で活動を計画しています。ユニットと関連させながら着目するフレーズを意識してアクティビティに取り入れています。年中さんは英語の先生のアイデアでお友達と協力するゲームに挑戦したり、年長さんは影絵クイズを楽しんだりしました！遊びながら、知っている単語を「口に出す」ことを目標に、色々な仕掛けを考えています。英会話活動の様子はブログをご覧ください♪



幼稚園ブログはこちら！

言語・算数のコンティニューム



何色が一番多いかな？

IBでは、今年4月に新しく「PYPの教科」という資料が発行されました。PYPのカリキュラムは「**教科横断型**」と呼ばれ、時間を区切って各教科を学ぶのではなく、1つの探究活動の中に言語や算数などの教科の要素が盛り込まれています。資料では、PYPの教科を**芸術・言語・算数・体育(身体・人格・社会性の発達)・理科・社会**の6つに定めています。園では、これらの資料をもとに独自の指針「コンティニューム」を作成中です。言語は「読むこと」「書くこと」など領域ごと・学年ごとに目指す学習成果を設定します。詳しい資料はこちらのQRコードからご覧ください！



ひらがなスタンプで自己紹介カードを作るよ！



算数のコンティニューム

お当番の発表は「～です」をつけるよ！



言語のコンティニューム